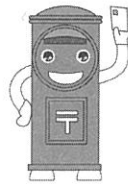


ご希望の検診
年1回
3項目まで
無料

自宅でご都合のいい時に受診できます!

郵送検診のご案内



本国保組合では、皆様の健康管理のお手伝いとして、今年度もご自宅で簡単にできる郵送検診を実施します。この機会を利用して、一人でも多くの方が受診されますようご案内いたします。

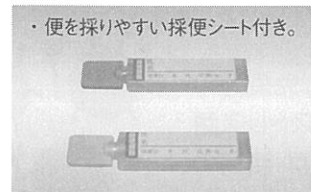
【記】

今注目の

トランスフェリン
同時測定

大腸がん (便潜血検査)

35歳以上



・便を採りやすい採便シート付き。

肺がん (喀痰細胞診)

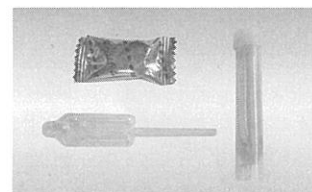
35歳以上



・3日分の痰を採取します。

歯周病リスク (唾液検査)

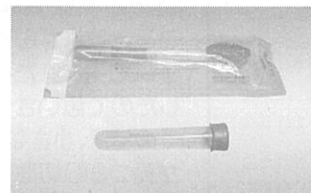
35歳以上



・唾液中のヘモグロビンを測定します。

HPV (子宮頸がん)

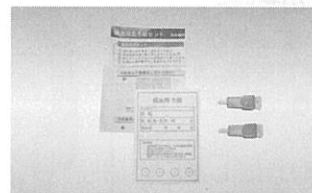
20歳以上



●妊娠中の方は申込みできません。
・HPVの感染の有無を調べます。

前立腺がん※ (血液検査)

35歳以上

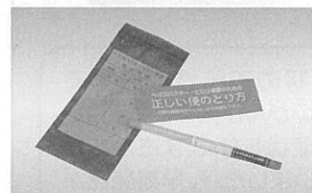


・前立腺特異抗原 (PSA) を測定します。

・血液は、専用の器具を使って指先から採取します。
・特定の疾患の治療中で、薬剤 (ヘパリン・ワーファリン・ウロキナーゼ等) を服用し、止血機能が低下している方は申込みができません。

ピロリ菌 (便中抗原検査)

1回限り
35歳以上



7~9月は検査できません。
・ピロリ菌の感染の有無を調べます。

★昨年度「陰性」であった方は申込みできません。
★本国保組合在籍期間中1回限りの受診です。

※前立腺がん検診について

前立腺や泌尿器関連の疾患で治療中の方、特定薬物 (抗男性ホルモン剤など) 使用中の方、長年寝たきりになっている方は、正確な検査結果が出ないことがあります。

- ① 検診対象者 本国保組合の35歳以上の被保険者の方。(1人3項目まで) 但し、HPVは20歳以上の方。
(注) 生活習慣病 (共同健診・予防健診)・人間ドックを受診される方で、検査項目に (大腸・ピロリ・前立腺・子宮頸がん) などが含まれている場合、重複して検査ができませんので、含まれていない検査項目を選んでお申込みください。
- ② 検診費用 本国保組合が全額負担します。
*申し込みをされて検体の返送をされない場合はキャンセル料が発生する場合があります。
- ③ 申込方法 添付の申込用ハガキに必要事項をご記入の上、保護シールを貼り投函してください。(切手不要)
*希望する検査項目年1回3つまで受診できます。
- ④ 申込締切日 令和6年1月31日(水)消印まで有効。(早めにお申込みください。)
- ⑤ 器具の送付 申し込み後、問診票と採取器具及び返送用封筒が検査機関より個人宛に郵送されます。
器具到着後1ヶ月以内に、問診票と採取した容器を同封の封筒に入れて返送してください。(切手不要) 返送が遅れると判定ができないことがあります。但し、ピロリ菌検査は7~9月の間は検体の採取返送はできません。
- ⑥ 検体返送締切日 令和6年2月29日(木)消印まで有効。
- ⑦ 検診結果 検体返送後、約2週間で本人宛に通知されます。
- ⑧ 検査機関 メスブ細胞検査研究所 (京都府登録衛生検査所第38号) TEL(075)231-2230

* <個人情報取扱い>

受診する方の個人情報は、本検診を提供する目的に限り利用します。また、受診する方の個人情報を事前の承諾を得ず、第三者に提供・開示することはありません。

※本国保組合は、検査機関より受診者の検査結果を一括して報告を受け、保健指導および統括に利用します。

※器具の送付を受けた方は、必ず検査を受けてください。何らかの事情で受診されない場合は、検査機関へ連絡してください。未受診のまま連絡がない場合には、器具代を負担していただく場合があります。

がんは予防できる時代です。

毎年必ず受けましょう!

まずは郵送検診で早期発見を!



大腸がん検診 早期発見・早期治療により、ほぼ100%完治できます!



見つけるのが早ければ
早いほど治りやすい

早期のがんは自覚症状がなく自分で気づくのはとても困難です。年に一度受診することで早期発見につながります。昨年陰性だった方も受診ください。

1つでも該当する人は要注意!

- 便秘がちである
- お酒や肉類・加工食品をよく食べる
- 緑黄色野菜をあまり食べない
- 家族や近親者に大腸がんにかかっている人がいる
- 大腸にポリープができたことがある
- 潰瘍性大腸炎を患っている

肺がん検診 喫煙者、過去に喫煙していた方、受動喫煙が気になる方に!

- ◆ 胸部レントゲン検査で見つかりにくいタイプのがんに有効です。
- ◆ 喀痰細胞診は中心型早期肺がんの唯一のスクリーニング法です。



3日分の痰を採取します。
うまく採れない場合は、
検査機関へお問合わせ
ください。

こんな方は受診を!

- 喫煙者
- 喫煙経験者
- 受動喫煙が気になる方
- 大気汚染が気になる方



歯周病リスク検診 簡単な検査で歯周病のリスクを知り、健康な生活を!

お口の中は大丈夫ですか?

- ◆ 血管を通して、歯周病菌が全身に運ばれ、糖尿病や心臓病、その他の病気にかかるリスクが高くなります。
- ◆ 唾液中の血液反応を測定し、歯周病のリスクを判定します。
歯周病の進行度合いがわかります。

痛くない!
唾液をとるだけ

受診者の声!

診断結果:中等度歯周病
奥歯左右に歯周ポケット3-4の
ところあり、かぶせ歯の一部が
外れていた。定期的に歯石除去
を行う予定です。

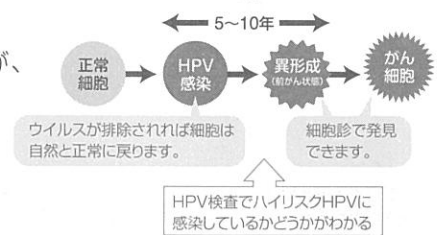


HPV検査 子宮頸がんのリスクがわかります!

- ◆ 子宮頸がんを引き起こす14種類のハイリスク型HPV (ヒトパピローマウイルス) 感染の有無を調べます。
- ◆ HPVに感染後、ほとんどは一過性で免疫力等により自然消滅しますが、稀に持続感染することがあり、がんへの危険性が高まります。



HPV検査って?



●子宮頸がん検診器具●



タンポン状の器具を膣に入れ子宮頸部の細胞をとります。

前立腺がん検診 急増しています! 50歳から年に一度は受診!

- ◆ 血液中のPSAという物質の量を調べることで前立腺の異常を見つける検査です。がんの場合には、その81%を発見できる非常に有効な検査方法です。50歳を過ぎれば定期的な前立腺検査をお勧めします。
- ◆ 前立腺がんはサイレントキラー!! 自覚症状がありません。がんの初期には排尿障害等の症状はほとんど出ません。

排尿障害とは...

- ・尿の勢いが弱い
- ・尿の回数が増えた
- ・残尿感がある など



ピロリ菌検査 ピロリ菌除菌でがん予防!

ピロリ菌感染の有無を調べます。

- ◆ ピロリ菌感染により胃の粘膜が傷つけられ、やがて慢性萎縮性胃炎を経て、胃がんを引き起こすことが解明されてきています。
- ◆ 胃がん予防としてのピロリ菌治療! 胃・十二指腸潰瘍などに加え、「胃炎」にも保険適用されています。ただし、保険適用のためには内視鏡による確認が必須です。

こんな方は検診を!

- 胃の症状が気になる方
- ご家族に胃がん・胃・十二指腸潰瘍などの既往歴がある方



結果が有所見であった方は、必ず精密検査を受けましょう。